

2015年9月関東・東北豪雨鬼怒川

2019年10月台風19号荒川



多言語版マイ・タイムライン検討ツール(逃げキット)の開発と今後の展開について

一般財団法人河川情報センター

流域情報事業部 有友 春樹



マイ・タイムラインとは

マイ・タイム

マイ・タイムラインは、河川の氾濫が起きそうな時に、余裕をもって逃げるために事前に考えておく、ひとり

マイ・タイムラインによる実効性のある避難体制の確保

- マイ・タイムライン:**
- ✓ 災害時に「いつ」「何をやるのか」を整理した一人ひとりの防災計画
 - ✓ ハザードマップを用いて、自らの災害リスク等を知り、避難行動を考えて作成

• 広く住民の意識が高まるよう、優良な取組例の公表等を実施

＜令和2年7月から＞

• ワークショップの手引きを作成 ＜令和2年6月＞

• 上記手引きを活用した自主防災組織等との連携型ワークショップの開催、検討のサポート役となる地域リーダーの育成、専門家を促進

• スマートフォンに不慣れな高齢者でもハザードマップなどで災害リスクを容易に確認できるよう、サイトの利便性向上

＜令和2年度以降実施＞

国土交通省

総力戦で挑む防災・減災プロジェクト（令和2年7月～）



みんなでタイムラインプロジェクト

国土交通省下館河川事務所



マイ・タイムラインは住民一人ひとりのタイムラインであり、氾濫の接近によって河川の水位が上昇する際、自分自身とご家族の安全な行動計画を体系的に整理し、とりまとめるものです。避難行動が新しい流れ発注時に、行動のチェックリストとして、また判断のサポートツールとして活用されることで、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待されています。

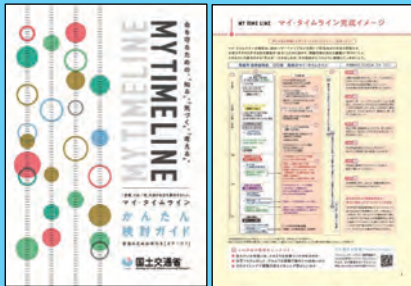


■マイ・タイムラインの普及展開

R2.5 マイ・タイムライン実践ポイントブック検討会（第2回）

⇒マイ・タイムラインの更なる普及・啓発に向け、地方自治体の職員や地域のリーダー等が、マイ・タイムラインの意義や重要性を、住民等に分かりやすく伝えられるよう「マイ・タイムラインかんたん検討ガイド」等を作成・公表

■マイ・タイムラインかんたん検討ガイド



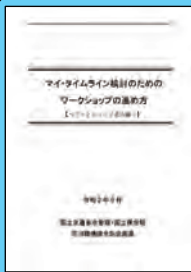
■マイ・タイムライン紹介パンフレット



■地域におけるマイ・タイムライン取組事例集



■マイ・タイムライン検討のためのワークショップの進め方



■マイ・タイムラインガイド [Ver.1.0]



■小中学生向けマイ・タイムライン検討ツール〜逃げキッド〜 汎用型 ダウンロード



出典：国土交通省HP（マイ・タイムライン）

3

■なぜいま多言語版なのか(1/3)

～近年の水災害ソフト対策に関する国の取り組み～

H23(2011年) 災害対策基本法改正では、避難行動の支援が必要な「**避難行動要支援者**」と、避難生活で配慮が必要な「**要配慮者**」という表現に整理し、災害時の具体的な援護や配慮を求めている

R3.5 災害対策基本法等の一部改正（個別避難計画の作成：市町村の努力義務化）

⇒令和元年台風第19号（長野県千曲川決壊）

⇒令和元年台風第19号等による災害からの避難に関するワーキンググループ（内閣府）

R4.2 令和3年度高齢者施設等の避難確保に関する検討会（フォローアップ会議）（第2回）

⇒令和2年7月豪雨（熊本県球磨川千寿園被災）

⇒令和2年7月豪雨災害を踏まえた高齢者福祉施設の避難確保に関する検討会（国土交通省）

R4.7 ハザードマップのユニバーサルデザインに関する検討会（第3回）

⇒障がい者を含めたあらゆる主体が「わかる」「伝わる」水害ハザードマップのあり方を検討中

近年、「避難行動要支援者」および「要配慮者」向けの取り組みが加速している

⇒外国人は、日本語がわからないことや、災害や避難に関する知識や経験が不足していることで適切に避難できない場合「**避難行動要支援者**」となり、また文化や習慣の違いから、食事などの生活面で配慮が必要な場合「**要配慮者**」ともなりえる

逃げ遅れゼロを目指すなかで、水害時の「在留外国人」への支援も求められてる

出典：内閣府防災担当HP・国土交通省HP・自治会国際化協会HP

4

■なぜいま多言語版なのか(2/3)

～在留外国人へのマイ・タイムラインの必要性～

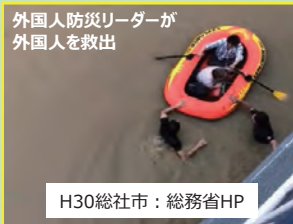
【在留外国人の被災状況】

- 平成27年関東東北豪雨では、常総市の外国人の被害は（り災証明332世帯、避難所ピーク時146人）とあり、逃げ遅れや支援制度の知識不足により多くの支援が必要であった
- 平成30年西日本豪雨では、岡山県が多言語相談のポスターを避難所に掲示したり、総社市の外国人防災リーダーが被災した外国人をボートで保護した
- 令和元年台風19号（東日本台風）では、仙台観光国際協会や茨城県国際交流協会などでは災害多言語支援センターを設置し、外国人へ情報提供などを行った

出典1：総務省HP・NPO法人茨城NPOセンター・コムズHP
 出典2：総務省HP・自治体国際化協会HP
 出典3：仙台観光国際化協会HP・茨城県国際交流協会HP

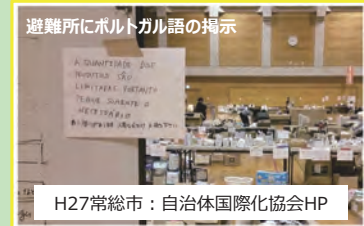


H30倉敷市真備地区：自治体国際化協会HP



外国人防災リーダーが外国人を救出

H30総社市：総務省HP



避難所にポルトガル語の掲示

H27常総市：自治体国際化協会HP

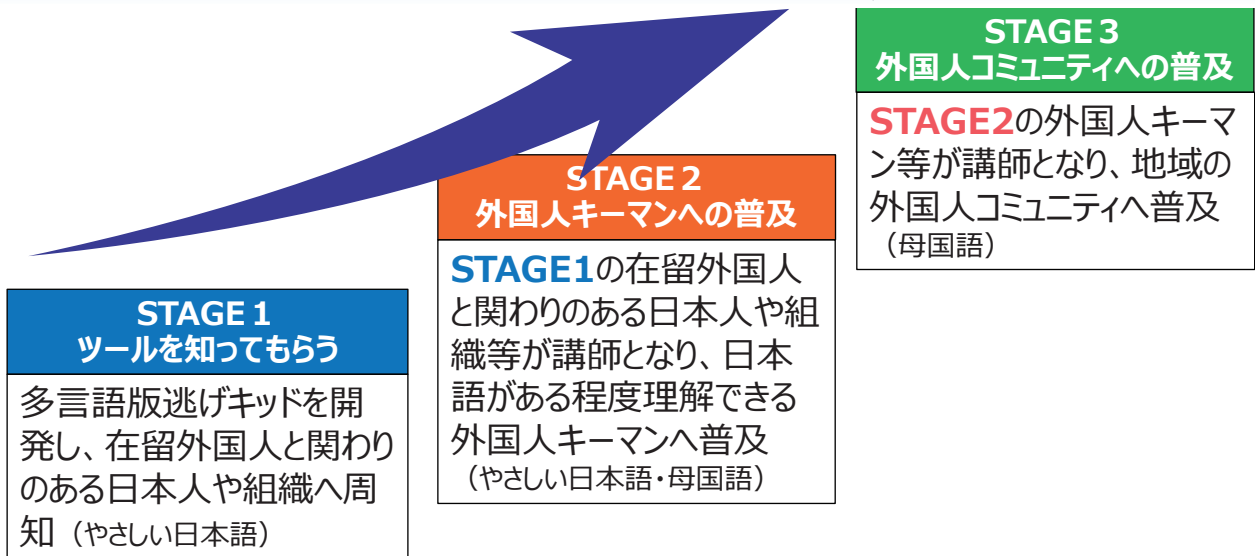
【実施体制】 <公益（自主）事業の立ち上げ>

- 河川情報センターでは、「河川・流域情報普及支援事業」の一環として在留外国人へのマイ・タイムラインの普及支援を開始
- 自治体国際化協会（自治体の国際イベントの支援など自治体の国際化を多方面から支援している団体）と共同で立ち上げ

5

■なぜいま多言語版なのか(3/3)

～在留外国人へのマイ・タイムラインの普及について～



【概略スケジュール】

※開発検討メンバー：仙台市・(公財)仙台観光国際協会・(一財)自治体国際化協会・(一財)河川情報センター

R3～：多言語版逃げキッド(試行版)の開発・改善

R4～：モデル自治体等で講習会(試行・改善)の実施

R5～：全国展開に向けて試行・改善を継続

6

多言語版逃げキッド(試行版)の開発(1/6)

STAGE 1

～開発の方針(ターゲット・コンセプト)～

国土交通省にて公開している小中学生向け「逃げキッド」をベースに開発

【ターゲット】

- 母国語が日本語でないが、日本在住で、ある程度日本語が理解できる在留外国人

【現行の逃げキッドを在留外国人に適応するための課題】

- 現行の逃げキッドでは、情報量が多く、日本語が母国語でない人は、手元に知らない単語があると、その場で翻訳検索してしまうため講習会に集中できない
- 難しい表現の日本語も含まれるため、多言語版は外国人にもわかりやすい表現を検討する必要がある



【コンセプト】

- ① 避難行動に重要な要素を抽出し、情報量と資料数を削減
- ② 現行の逃げキッドの中の難しいと思われる表現を、わかりやすい表現「やさしい日本語」として作成
- ③ 多言語版逃げキッドは「やさしい日本語」で試行版を作成後、主要な外国語 1 3 言語に翻訳
- ④ 翻訳の際に、ハザードマップ・ニュースや防災行政無線等で使用する言葉は日本語を残し、外国語での説明を併記

※やさしい日本語：難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語

出典：文化庁・在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン（2020年8月） 7

多言語版逃げキッド(試行版)の開発(2/6)

STAGE 1

① 避難行動に重要な要素を抽出し、情報量と資料数を削減

現行の逃げキッドの構成（7つの資料と封筒のセット）



①封筒

ツールをまとめる袋。
表面にはマイ・タイムラインがあった時となかった時の比較をマンガ絵で記載し、効果を説明



①チェックシート

自分の生活環境での水害に対するリスクと、避難に関するチェック項目を記載するシート

②資料1

台風が発生してから川の水が氾濫するまでを時間軸に沿って解説

③資料2

川の水が氾濫するまでにするこの「軸」を解説、子どもが飽きない工夫として、並べ替えやクイズで考える形式

④マイ・タイムラインシート

時間軸に沿って、自分の行動を考えるシート、資料2の行動を骨として、自分のオリジナルの行動を記載

⑤ヒント集

マイ・タイムラインを検討するために参考になる情報を記載



⑥見直しチラシ

マイ・タイムラインの注意事項等を記載



⑦シール

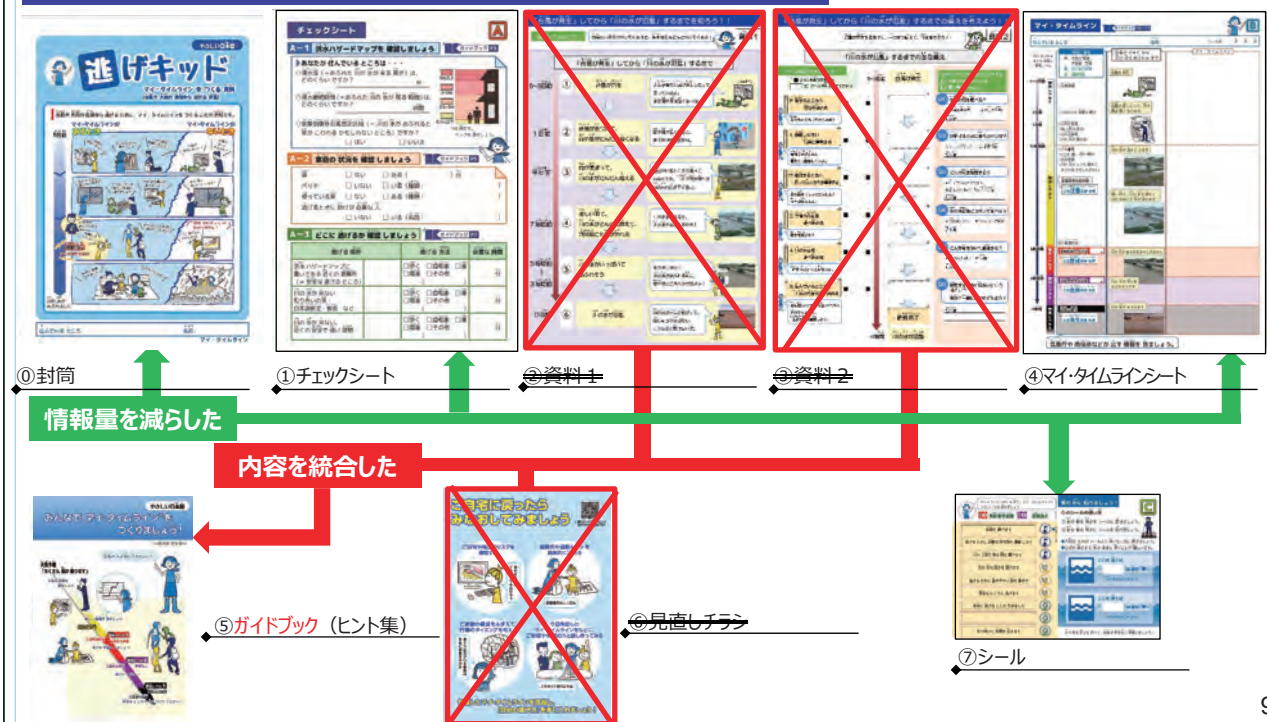
資料2にある行動をシートに貼れるシール、浸水深シールも記載

多言語版逃げキット(試行版)の開発(2/6)

STAGE 1

① 避難行動に必要な要素を抽出し、情報量と資料数を削減

多言語版逃げキットの構成 (4つの資料と封筒のセット)



多言語版逃げキット(試行版)の開発(3/6)

STAGE 1

② 現行の逃げキットの中の難しいと思われる表現を、わかりやすい表現「やさしい日本語」として作成

チェックシート

A-1 洪水ハザードマップを確認しましょう

あなたが住んでいるところは・・・

- 浸水深(=あふれた川の水が来る高さ)は、どのくらいですか?
- 浸水継続時間(=あふれた川の水が残る時間)は、どのくらいですか?
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(=川の水があふれると家がこわれるかもしれないところ)ですか?

A-2 家庭の状況を確認しましょう

誰 □ ない □ ある (名前)

ペット □ ない □ いる (種類)

使っている薬 □ ない □ ある (種類)

逃げるときに助けが必要な人 □ ない □ いる (名前)

A-3 どこに逃げるか確認しましょう

逃げる場所	逃げる方法	必要な時間
洪水ハザードマップに書いてある近くの避難所 (=安全な逃げ場所)	<input type="checkbox"/> 歩く <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> その他	() 分
川の水が来ない知り合いの家・日本語教室・教団 など	<input type="checkbox"/> 歩く <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> その他	() 分
川の水が来ない、近くの安全で強い建物	<input type="checkbox"/> 歩く <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> その他	() 分

5時間前 3時間前 0時間

警戒レベル3 警戒レベル4 警戒レベル5

避難判断水位到達 川の水があふれる かもしれません

氾濫警戒情報発表 川の水が今にもあふれそうです

氾濫危険水位到達 川の水があふれます

氾濫危険情報発表

氾濫発生緊急

氾濫発生情報発表

気象庁や市役所などが出す情報を見ましょう。

台風を調べます

逃げるときに必要な持ち物を準備します

川の上流で降る雨を調べます

「やさしい日本語」に翻訳

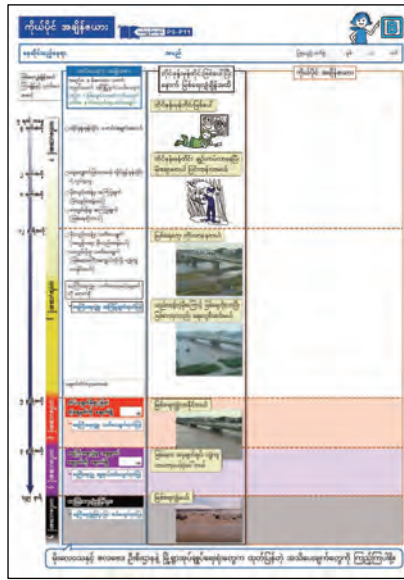
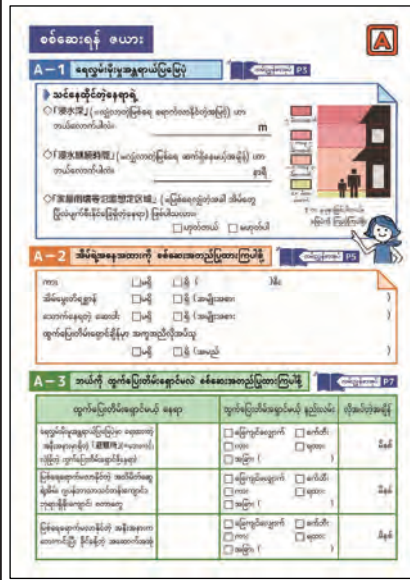
多言語版逃げキット(試行版)の開発(4/6)

STAGE 1

③ 多言語版逃げキットは「やさしい日本語」で試行版を作成後、主要な外国語 13 言語に翻訳

○ やさしい日本語版をもとに翻訳 (やさしい日本語を含む14言語)

- ① 英語、② 中国語 (簡体字、繁体字)、③ 韓国・朝鮮語、④ タガログ語、⑤ ベトナム語、⑥ タイ語、⑦ インドネシア語、⑧ ミャンマー語 (ビルマ語)、⑨ ネパール語、⑩ スペイン語、⑪ ポルトガル語、⑫ フランス語、⑬ ロシア語、⑭ やさしい日本語



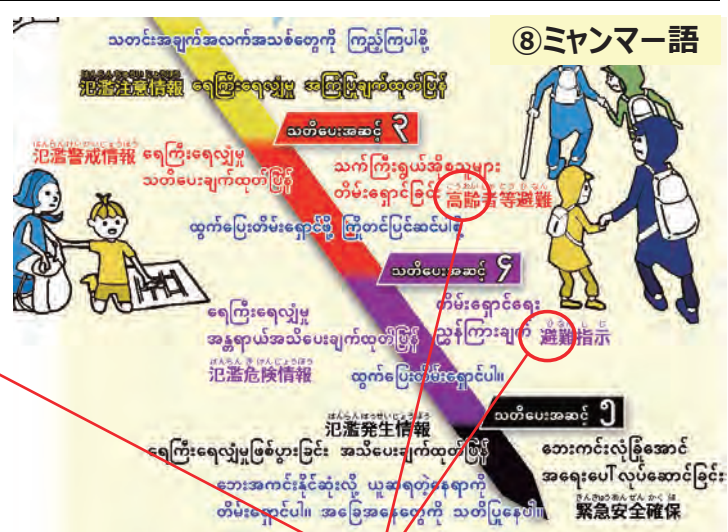
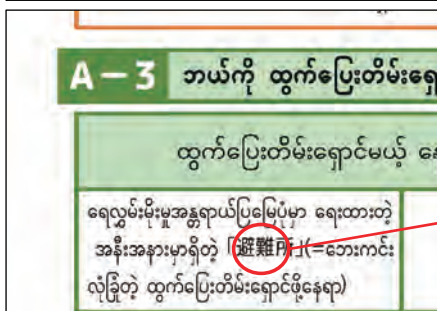
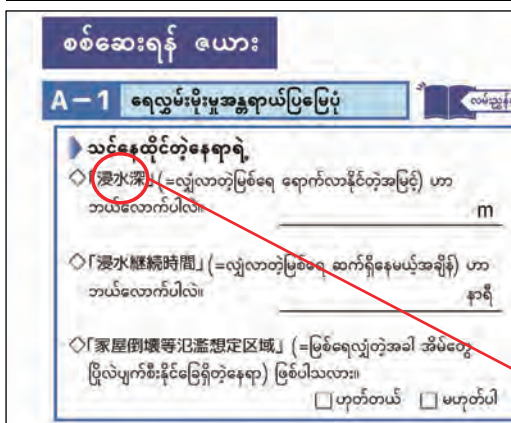
⑧ ミャンマー語



多言語版逃げキット(試行版)の開発(5/6)

STAGE 1

④ 翻訳の際に、ハザードマップ・ニュースや防災行政無線等で使用する言葉は日本語を残し、外国語での説明を併記



ハザードマップ・ニュースや防災行政無線等で使用する言葉を残し、外国語での説明を併記

多言語版逃げキット(試行版)の開発(6/6)

STAGE 1

⑧ミャンマー語

逃げキットに入っている資料

ထွက်ပြေးတိမ်းရှောင်ရေး အသင့်သုံးပစ္စည်းထဲမှာပါတဲ့ စာရွက်စာတမ်း

1 チェックシート
2 マイ・タイムラインシート
3 避難行動等シール
4 ガイドブック



- ① စစ်ဆေးရန် ဇယား: **A**
- ② ကိုယ်ပိုင် အချိန်ဇယား: **B**
- ③ စတစ်ကာ **C**
- ④ လမ်းညွှန်စာအုပ်

【知ってもらう取り組み】

R3.2 令和3年度 第2回 地域国際化協会連絡協議会課題研究会 (取り組み紹介)

R4.5 機関紙 (自治体国際化フォーラム391号)



R4.8 令和4年度地域国際化協会職員国内研修 (事業担当者向け) (取り組み紹介)

多言語版逃げキットを活用した講習会(試行)

STAGE 2

【実施体制】

主催 : 仙台観光国際協会
 協力 : 仙台市減災推進課
 オブザーバー : 自治体国際化協会、河川情報センター、仙台市交流企画課

【概要】

開催日時 : 令和4年8月6日 11:00~12:30 (90分)
 開催場所 : 仙台多文化共生センター
 参加者 : 災害時言語ボランティア、外国人防災リーダー22名
 講師 : 仙台市減災推進課職員
 サポーター : 自治体国際化協会、河川情報センター

【使用教材】

- 多言語版逃げキット (試作品)
 - ① やさしい日本語 ② 参加者の母国語
- 国土交通省重ねるハザードマップ (web)



講師：仙台市職員 (日本人)



外国人防災リーダー

重ねるハザードマップ (スマホ)

■参加者(災害言語ボランティア・外国人防災リーダー)からの感想

○私の住んでいる場所は危険な場所なので、もし本当に台風・豪雨が来る場合、早めに準備・避難したほうが良いと気づくことができました。

■講習会での工夫(1/3)

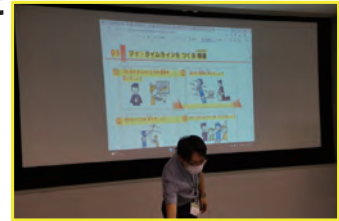
～講習会企画(対象者・教材・言語)などでの工夫～

①参加対象者は地域のリーダーとなる外国人キーマンを選定した



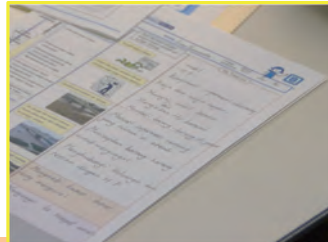
出典：仙台観光国際協会HP

②講師の言語は「やさしい日本語」を意識しながら実施した



③手元の教材は母国語の「多言語版」を配布した

- 講師のはなしは日本語で理解
- マイ・タイムラインは母国語で作成



④各グループは多国籍な人材を配置した



【今後のさらなる工夫】

- 募集方法の工夫として、研修を受けるメリットを強調したり、日本語学校・留学生など既存のグループを選定することで集まりやすくなる。
- 普段から外国人を支援している方（NPO法人や日本語学校の先生）などを講師となってもらいよう支援することで地域に広まりやすくなる。

15

■講習会での工夫(2/3)

～講習会の進め方の工夫～

①講習会の目的(ゴール)をはじめに示した



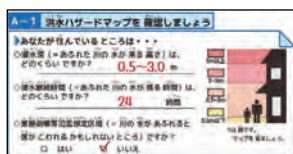
台風が近づいてきたとき、「いつ」「なにをするか」理解していますか？

②参加者が水害がイメージできるように動画を活用した

- 水害を経験したことがない国の人もいる



③講習中のワークの内容を画面に示しながらすすめた



記入例（ガイドブック）



④各グループに作成のサポーターを配置した



日本語でサポート

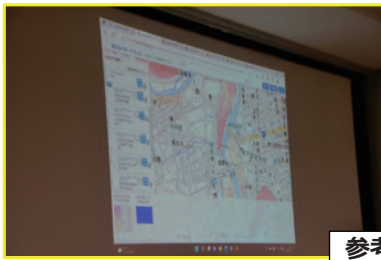
【今後のさらなる工夫】

- 避難所というものがイメージできない外国人もいた。「申し込みが必要？」「避難所は有料？」などの質問もでたため、避難先に関する詳しい説明も重要である。

16

■講習会での工夫(3/3) ～水害リスク情報の提供方法の工夫～

①重なるハザードマップ
(ICT技術)を活用できた



②参加者のスマートフォン
が活用できた



出典：国土交通省HP

ICT技術を活用して、
水害リスクが簡単に
分かるツールは有効
であると感じた

③日本語表示を「象形」と
してサポートできた



浸水継続時間

【今後のさらなる工夫】

- マイ・タイムラインすべてを教えようとする講習の時間がかかる。「チェックリスト」を活用して水害リスクをしっかりと教えることを目的とする講習会も有効である。
- 自宅の住所を覚えていない方もいた。スマートフォンのGPSを活用したり、よくわかるランドマークをもとにサポートしていくことも重要である。
⇒参加者からは「○○の近くのマクドナルドはどこですか？」などの質問も出た。

■まとめ

- 令和3年度からは、STAGE1として、現行の逃げキッドを参考として、多言語版マイ・タイムライン検討ツール(逃げキッド)を開発し、在留外国人と関わりのある日本人や組織へ周知広報や講習会を実施した。
- 令和4年度からは、STAGE2として開発した教材を活用した在留外国人向け講習会を企画段階から試行的に実施し、有効性が確認できた。工夫すべき点やさらなる改善すべき点などが明らかとなった。(継続普及)

【今後の展開】これから～令和5年度 全国展開に向けて試行・改善を継続

- 14言語すべての言語の講習会(試行)の開催を目指す
- STAGE3の講習会(試行)の開催を目指す

深める

もっと知ってもらう・講師育成支援

STAGE 1
ツールを知ってもらう
多言語版逃げキッドを開発し、在留外国人と関わりのある日本人や組織へ周知(やさしい日本語)

試行講習会企画・講師育成支援

STAGE 2
外国人キーマンへの普及
STAGE1の在留外国人と関わりのある日本人や組織等が講師となり、日本語がある程度理解できる外国人キーマンへ普及(やさしい日本語・母国語)

STAGE 3
外国人コミュニティへの普及

STAGE2の外国人キーマン等が講師となり、地域の外国人コミュニティへ普及(母国語)

現状、きっかけができた段階、PDCAで試行・改善しながら普及

広める 18

ご清聴ありがとうございました

「講習会に参加した在留外国人の声」

「実際に災害が発生した際、避難が避難指示後で間に合うか不安に感じたので、避難場所を決めたら1度そこまでのルートと時間を確認しようと思った。」

「講習会に参加した在留外国人の声」

「水害を避ける手段として、重ねるハザードマップ(web)の使い方を知った。現在住んでいる場所だけでなく、将来引っ越し先を選ぶときにも活用しようと思った。」